2026年11月19日

NEWS RELEASE

SAPPORO

サッポロビール株式会社

# 社用車の安全管理における優れた取り組みを表彰する「Safety Driving Award 2026」において営業車部門の「Good Practice賞」を受賞

## 安全運転管理DXの取り組みが評価




サッポロビール(株)は、社用車を有するすべての企業を対象に、優れた交通事故削減の取り組みに光を当てるアワード「Safety Driving Award 2026」において、営業車部門の「Good Practice賞」を受賞しました。当社が本アワードを受賞するのは、今回が初めてとなります。

今回の受賞は、MicrosoftのBIツール「Power BI」を活用して車両・安全運転管理BI「Drive Manager」を内製開発し、分散していた運転関連データを一元化することで、安全運転管理の高度化と事故の未然防止につなげる取り組みが評価されたものです。

**■当社の取り組み概要**

当社では、安全運転を組織的に支えるため、全国の車両担当者による運転管理やアルコールチェック管理を実施してきました。一方で、アルコール検知データやテレマティクスデータなどの運転関連情報が複数のシステムやExcelに分散しており、確認・集計作業の負荷や、拠点ごとの運用のばらつきが課題となっていました。

こうした課題を解決するため、MicrosoftのBIツール「Power BI」を活用し、車両・安全運転管理BI「Drive Manager」を内製開発しました。分散していた運転関連データを一元管理するとともに、乗車データとアルコール検知データを組み合わせた法令遵守状況の確認や、AI運転診断データを活用した危険運転傾向の可視化を実現しています。

本取り組みにより、全国共通の基準による安全運転管理を推進するとともに、事故につながる可能性のある兆候を早期に把握し、未然防止に向けた対応を行うことが可能となりました。当社は今後

も、データ活用による安全運転管理の高度化を通じて、交通事故の削減と安全運転風土の定着に取り組んでいきます。

**■担当者コメント**

サッポロビール(株) 総務部 オフィスマネジメントグループ 岡本 憲太



交通安全は、社員の安全はもとより、お客様や地域社会の安全、そして企業への信頼を守るための重要な課題です。私たちは、安全運転を個人の注意や努力だけに委ねるのではなく、組織として継続的に支える仕組みづくりが大切だと考えています。その考えのもと、車両・安全運転管理 BI「Drive Manager」を内製開発し、分散していた運転関連データを集約することで、事故につながり得る兆候を早期に把握し、全国共通の基準で確認・対応につなげる環境を整えてきました。今回の受賞は、こうした事故の未然防止に向けた工夫を評価いただいたものと受け止めています。今後も内製開発の強みを生かして現場の声を迅速に反映し、仕組みと運用の両面から改善を重ねることで、交通事故の削減と安全運転風土の定着に取り組んでいきます。

**■「Safety Driving Award」について**

「Safety Driving Award 2026」は、社用車を有するすべての企業を対象に、優れた交通事故削減の取り組みに光を当てるアワードです。社用車の安全管理に関する効果的な取り組みが多くの企業に知れ渡ることで、交通事故の減少に寄与することを目指して 2024 年から始まり、今年で 3 度目の開催となります。

公式サイト： https://safety-driving-award.com/2026/